

様式③

提出日 2020 年 1 月 17 日

2019 年度 琉球弧研究支援 報告書

研究テーマ「 石垣市の学校現場での食育の取り組み 」

氏名：渡具知志織 儀武桜

所属学部学科：人文学部 こども文化学科

I. 初めに

近年、時代の変化に伴い共働きが増えていく中で子どもの「食」に関する課題が増えてきている。例えば、朝食の欠食や夜間摂取の増加、エネルギー過剰摂取などの食生活の乱れなどがあげられる。また、子どもだけでなく親の問題として、家族一緒に食事をする頻度の減少、食に関する知識や技術の不足、親自身の食生活の乱れなどがあげられる。今回は、これらの問題を踏まえて「食育」について、沖縄本島の課題と取り組みについても意識しつつ離島である石垣市や竹富町で行われている食育の取り組みについて調査を行った。

II. 研究の目的、動機

近年の社会環境や世帯構造の変化、価値観の多様化とともに、食生活における様々な課題や食の安全性、食料資源に関する問題等が生じている。このように、食育に対する意識が低くなっている中、学校現場では、アレルギーの問題や黙食の取り組み等がされているが離島の石垣島ではどのような取り組みがおこなわれているのか。さらに、学校現場だけでなく、石垣市が行っている取り組み、地産地消の観点でどういう食材がつかわれているのかについて調べたいと思った。

III. 研究方法、地域、期間

方法：①現地調査 ②文献調査 ③聞き取り調査

地域：石垣市

期間：令和元年 9月2日～9月4日

IV. 結果

○学校、保育所等における食育の推進

沖縄県全体

エネルギーや食塩の過剰摂取や野菜の摂取不足等の栄養の偏り、肥満の増加や朝食欠食、食べ物アレルギーなどへの対応等の課題があげられる。それらを踏まえて学校では専門知識を深めるための学校給食関係者の研修や、児童生徒の実態に即した食に関する指導の年間指導計画の充実、郷土食や行事食、地場産物の活用など、学校給食の献立内容の充実を促進するとともに「生きた教材」として給食を食の実践場面として活用し、食に関するルールやマナーを指導するなどの取り組みを行っている。更に、食物アレルギー等の個別指導や衛生管理の充実も図っている。

石垣市全体

本市における学校の実態として、基本的な生活習慣が確立しておらず、そのことにより学習の定着が阻害されている面がある。特に、朝食抜きの幼児・児童・生徒や、TVの聴取時間が長いことでの家庭学習の不足、さらに就寝時間が遅く睡眠時間が短いなど、家庭・

地域の連帯により解決しなければならない面がある。石垣市では、望ましい食習慣を形成するため基本的な生活習慣の確立を重要視し、各家庭に向け以下の取り組みが実践できるよう啓発を行っている。

- ・家族団らんの楽しい食事の実践
- ・「早寝早起き朝ごはん」の実践

また、家庭、学校及び地域との連携を図るために以下の取り組みを行っている。

- ・献立表の活用
- ・給食だよりの発行
- ・試食会等の開催
- ・講話等の開催
- ・学校給食についての情報提供（学校給食習慣等の開催）
- ・地域食材利用及び、郷土食の実施
- ・お弁当の日の実施

○石垣市立明石小学校での食育の取り組み

明石小学校は全校生徒約30名の小規模な学校であり、給食センターを介さずに自校で給食を調理し提供する自校式の学校である。私たちは、学校現場でこういった指導がおこなわれているのか、どのような工夫があるのかに興味を持ち明石小学校での調査を行った。明石小学校では、食べる前に、その日直を担当する児童が五大栄養素について確認を行い、20分の給食時間のうち最初の10分間を黙食としている。その他の取り組みとして学校では、学期に3回児童自身が調理した弁当を持参する日を設けている。ほかにも、地産地消をいかし、校内に自生しているパパイヤやピパーツを給食に取り入れたり、地域住民からの農作物の提供を受けたり等、地域との連携も充実している。

V. 考察、分析

今回、主に石垣島の食育について調査を行い、石垣島の現状と取り組みについて知ることが出来た。石垣島においても食育は重要視されており、改善していくために、家庭・学校及び地域との連携が大事だと感じた。明石小学校で行っている弁当持参の取り組みでは児童自身に調理させることにより、食に対する理解や関心、普段作ってくれる人への感謝を感じる、いい機会になるのではないかと考えた。

VI. 今後の展望

石垣島内で食育について様々な取り組みがあることを知り、どれだけ食育が生きていくうえで重要視されているか改めて認識した。日々忙しい生活の中で食生活がおろそかになってしまうが、食の大切さを忘れずに健康を意識した食事を心がけていきたい。

VII. 終わりに

お忙しい中、快く調査に協力していただいた方々に、心から感謝いたします。

VIII. 参考文献、調査協力

第3次沖縄県食育推進計画～食育おきなわ うまんちゅ（万人）プラン～

第2次石垣市食育推進計画～あやばにプラン～

調査協力：明石小学校 金城通彦校長はじめ明石小学校のみなさん

石垣市健康福祉センター 健康福祉課

IX. 指導教員コメント

健康の問題だけでなく、学力問題の面からも食育の問題がとりあげられていることが石垣市の事例から分かった。明石小学校と他のセンター方式での給食を基にした食育の違いがあるのかどうかなど、課題が見えてきた。今後の取り組みに期待したい。